

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-91686

(43) 公開日 平成10年(1998) 4月10日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

識別記号

F I

G 0 6 F 17/60

G 0 6 F 15/21

Z

17/30

15/40

3 7 0 Z

15/403

3 4 0 A

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 18 頁)

(21) 出願番号 特願平8-244691

(22) 出願日 平成8年(1996) 9月17日

(71) 出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(72) 発明者 山下 真一郎

神奈川県横浜市戸塚区戸塚町5030番地 株

式会社日立製作所ソフトウェア開発本部内

(72) 発明者 森 欣司

神奈川県川崎市麻生区王禅寺1099番地 株

式会社日立製作所システム開発研究所内

(72) 発明者 河野 克己

神奈川県川崎市麻生区王禅寺1099番地 株

式会社日立製作所システム開発研究所内

(74) 代理人 弁理士 磯村 雅俊

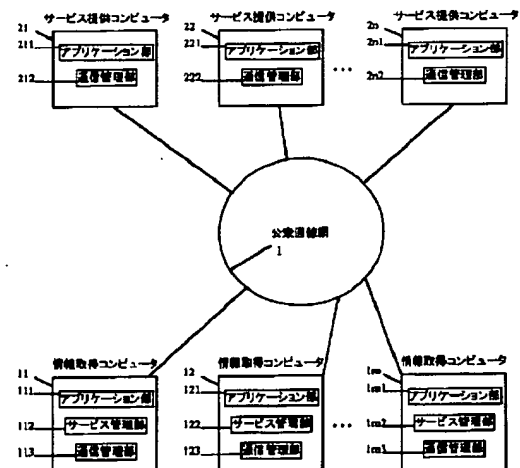
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 サービス提供方法

(57) 【要約】

【課題】 ユーザの嗜好や利用履歴、利用時の状況を評価し、それを満たす情報サービスを、サービス提供コンピュータが提供する情報サービスのなかから選択して取得、提供し、自コンピュータ内の不要な情報サービスを削除する。

【解決手段】 情報取得コンピュータ11~1mは、公衆回線網1を介してサービス提供コンピュータ21~2nから情報サービスを受信する。情報取得コンピュータ11は、サービス管理部にあらかじめ格納してある使用者の興味度から、受信した情報サービスを格納すべきかを決定し、使用者への提供方法を決定する。使用者の要求に応じて、格納してある情報サービスを提供する。このときの状況と使用者の利用履歴を保持しておき、使用者の興味度を計算する。格納した情報サービスと使用者の興味度から、情報サービスを保存するか破棄するか決定する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】情報取得を行う複数の装置と、情報送付を行う複数の装置がネットワークを介して接続され、該情報取得を行う装置から使用者に情報サービスを提供するサービス提供方法において、  
前記情報取得を行う装置は、前記情報送付を行う装置から情報を受信して、受信した情報の内容に基づき該情報を装置内に格納するか否かを決定し、  
格納した情報内容に基づき使用者への提供方法を決定し、  
格納した情報内容に基づき保存方法を決定することを特徴とするサービス提供方法。

【請求項2】請求項1に記載のサービス提供方法において、  
前記情報取得を行う装置は、前記情報取得を行う装置の使用者に関する事実、過去の履歴から抽出できる情報、現在の一時的情報、将来の予定、の少なくとも1つに基づき、前記受信した情報を、前記情報取得を行う装置内に格納するか否かを決定し、使用者への提供方法を決定し、かつ保存方法を決定することを特徴とするサービス提供方法。

【請求項3】情報取得を行う複数の装置と、情報送付を行う複数の装置がネットワークを介して接続され、該情報取得を行う装置から使用者へ情報サービスを提供するサービス提供方法において、  
情報取得を行う複数の装置と、情報送付を行う複数の装置の間に、少なくとも1つの装置を介在させ、  
前記介在させた装置は、前記情報送付を行う装置から情報を受信し、受信した情報の内容に基づき前記情報取得を行なう装置に送付するか否かを決定することを特徴とするサービス提供方法。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、各ユーザの利用履歴を活用して、ユーザ毎の趣向を動的に把握することにより、ユーザに適した情報サービスを効率的に提供することが可能なサービス提供方法に関する。

## 【0002】

【従来の技術】近年、インターネットやパソコン通信等のネットワークの広がり、およびワープロやパソコン等の職場や家庭への浸透によって、エンドユーザが利用できる情報サービスが飛躍的に増大している。しかしながら、実際にインターネット上で利用できるメールサービスやニュースサーバから取得する情報サービス、パソコン通信から取得する情報サービス等は、各エンドユーザが要求する度合いに関係なく、全ての情報が同じ重要度で取得されてしまう。このため、エンドユーザは取得した全ての情報サービスを自分で調査して、その中から必要な情報サービスのみを選択して、これを利用する必要があった。また、取得した情報サービスの保存方法に

は、その情報サービスに対するエンドユーザの評価価値が考慮されていなかった。このため、例えば、エンドユーザの評価価値とは無関係にある一定の保存期間が経過した時点で、全ての情報サービスが消去されてしまう場合、あるいはそれとは逆に、明示的に削除指定をしない限り、不要な情報サービスも保存し続けてしまう場合が殆んどであった。従来、利用者が所望するであろう情報を推測して、それに該当する情報サービスのみをユーザに提供するシステムとしては、例えば、特開平6-124309号公報（情報サービスシステムおよび放送受信システム）がある。このシステムでは、エンドユーザのアクセス履歴を取得して、各分野に対する関心度を管理し、その関心度に合わせてサービスの提供を行っている。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】上述の従来技術においては、エンドユーザのアクセス履歴から判定された関心度に合わせて、情報源から直接情報を取得して各エンドユーザに情報サービスを提供している。このために、以下のような問題点があった。

（1）エンドユーザは真に希望する情報サービスを見つけることが困難である。すなわち、推測によりエンドユーザ毎に関心度のありそうな情報サービスを提供しているので、ある程度のずれが生じることは避けられず、またエンドユーザの希望する情報サービスが存在していたとしても、未使用の情報サービスは提供されないで、エンドユーザが独力でその情報サービスを取得しなければならぬ。しかしながら、膨大な情報サービスの中から独力でそれらの情報を取得することは極めて困難である。

（2）膨大な情報サービスを全て取得し、これらを保管しておくことは困難である。すなわち、ネットワーク上には種々雑多な情報サービスが提供されるが、これらの情報サービスを全て自コンピュータ内に保管するためには、大量の資源が必要であり、これを具備することは困難である。そこで、本発明の目的は、これらの課題を解決し、ユーザの嗜好や利用履歴、利用時の状況の評価して、それらを満たす情報サービスを選択して提供するとともに、自コンピュータ内の不要な情報サービスを削除することが可能なサービス提供方法を実現することにある。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、本発明のサービス提供方法では、①情報取得を行う複数の装置と、情報送付を行う複数の装置がネットワークを介して接続されたサービス提供システムにおいて、前記情報取得を行う装置は、前記情報送付を行う装置から情報を受信し、その情報内容に基づき装置内に格納するかを決定し、格納した情報内容に基づき提供方法を決定し、格納した情報内容に基づき保存方法を決定するよ